

## 第2期宮城県食育推進プランの策定にあたって

「食」は命の源であり、私たちが生きていくために欠かすことのできないものです。

平成23年3月11日に本県を襲った東日本大震災は、多くの尊い生命と財産を一瞬にして奪う未曾有の大災害となりました。

被災後、生命に直結する「食」の重要性を改めて感じずにはいられませんでした。ライフラインや交通機関が寸断され、不自由な生活を余儀なくされる中、温かい食事が安らぎや活力となったことから、「食」は私たちに健康のみならず、まさに生きる力を与えてくれるものだと言えます。

私たちは、海・山・大地が育む多彩な食材を享受しながら、食べる楽しさを実感し、食を通してコミュニケーションをはかることで、豊かな人間性を培ってまいりました。

しかしながら、近年、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、私たちの食生活は大きく変化しています。基本的な生活リズムや食生活の乱れ、これらに起因する肥満や生活習慣病等の健康上の問題、伝統的な食文化の喪失など様々な問題が生じています。

このような状況を踏まえ、本県では「宮城の将来ビジョン」の基本理念である「富県共創！活力とやすらぎの<sup>ほ</sup>づくり」の下、平成18年に「宮城県食育推進プラン」を策定し、宮城らしい食育に取り組んでまいりましたが、このたび、より一層、食育推進の取組を充実し、県民の皆様が生涯にわたって健康で心豊かな生活を送れるよう「第2期宮城県食育推進プラン」を策定いたしました。

このプランに基づき、食を通じた「心身の健康増進」と「豊かな人間形成」を目指し、家庭や学校をはじめ、様々な関係者と連携しながら県民の皆様一人一人が主役となった県民運動として、食育がさらに広まるよう取り組んでまいります。

最後に、この計画の策定に当たり貴重な御意見、御協力をいただきました宮城県食育推進会議の委員の皆様をはじめ、関係各位に心から感謝申し上げます。

平成23年7月

宮城県知事 村 井 嘉 浩

